

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が179例(男性102例(10歳代22例, 20歳代36例, 30歳代17例, 40歳代14例, 50歳代5例, 60歳代3例, 70歳代1例, 90歳代1例, 年齢非公開3例), 女性72例(10歳代5例, 20歳代26例, 30歳代7例, 40歳代7例, 50歳代9例, 60歳代3例, 70歳代1例, 80歳代2例, 90歳代3例, 本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が1例(30歳代男性)(第27週追加報告分)ありました。症状は腹痛, 血便で, 感染経路は経口です。本年の累積報告数は12例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ **レジオネラ症(肺炎型)**の報告が2例(60歳代男性及び女性各1例)あり, 症状はどちらも発熱, 肺炎です。本年の累積報告数は13例となりました。
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例(70歳代男性)(第27週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は21例となりました。
- ・ **侵襲性インフルエンザ菌感染症**の報告が1例(10歳未満男性)あり, 症状は発熱, 肺炎, 菌血症です。本年初めての報告となります。
- ・ **梅毒**の報告が2例(20歳代及び50歳代男性各1例)ありました。いずれも感染地域は国内, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は36例となりました。
- ・ **RSウイルス感染症**の定点当たり報告数は3. 51で, 前週の2.40から増加しました。全国でも今週5.99(前週5. 05)で急激な増加が続いており, 引き続き強い警戒が必要です。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は3.51(151例)となり, 前週の2.40(103例)から増加し, 第14週以降は15週続けて流行閾値(過去のデータから算出した値で, それ以上報告数が増えたら確率的に非常に多い発生と考えられる値)を上回っており, 非常に多い発生状況と考えられます。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 4例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 134例(肺結核 47例, その他結核 38例, 潜在性結核感染者 49例)うち喀痰塗抹陽性 20例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 179例**【1月以降の累積報告数8,445例】
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 12例】
- ・ 四類:レジオネラ症 2例【1月以降の累積報告数 13例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 21例】
- ・ 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 36例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

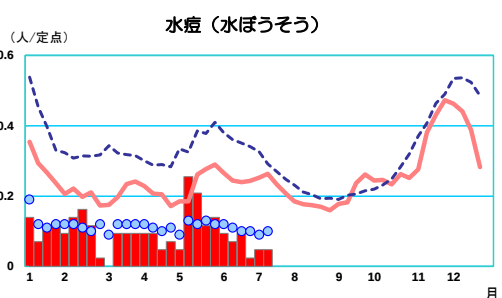
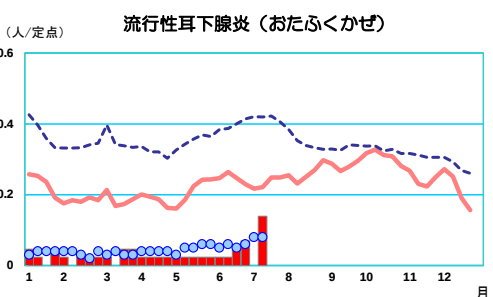
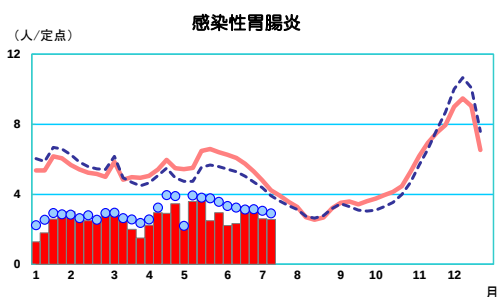
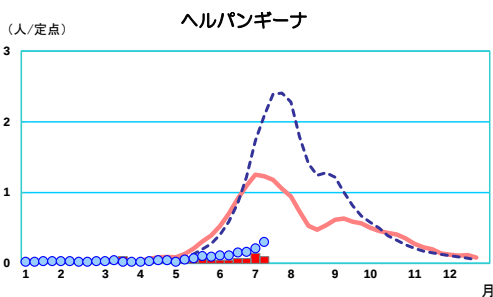
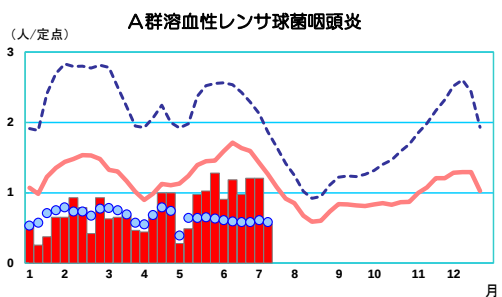
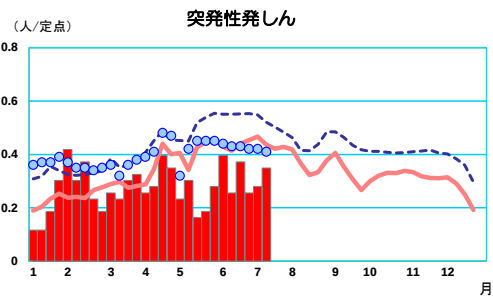
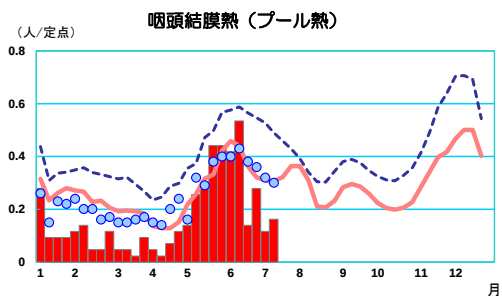
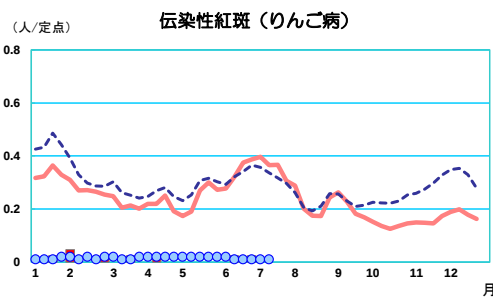
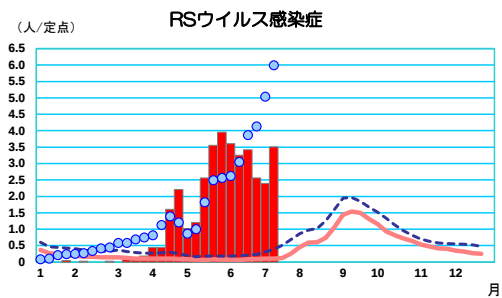
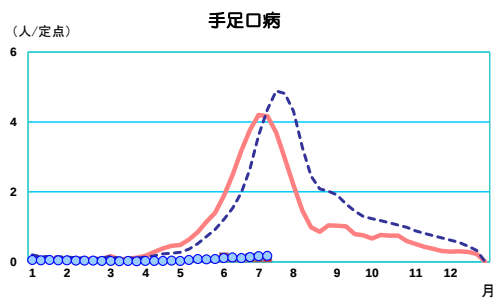
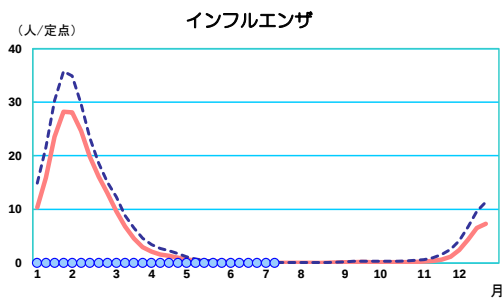
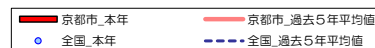
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 00	0
小児科	① RSウイルス感染症	3. 51	151
(降順5位まで)	② 感染性胃腸炎	2. 56	110
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 56	24
	④ 突発性発しん	0. 35	15
	⑤ 咽頭結膜熱	0. 16	7
眼科	流行性角結膜炎	0. 20	2

【次ページ以降の主な内容】

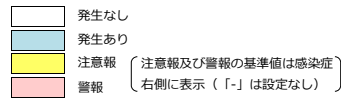
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年7月21日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

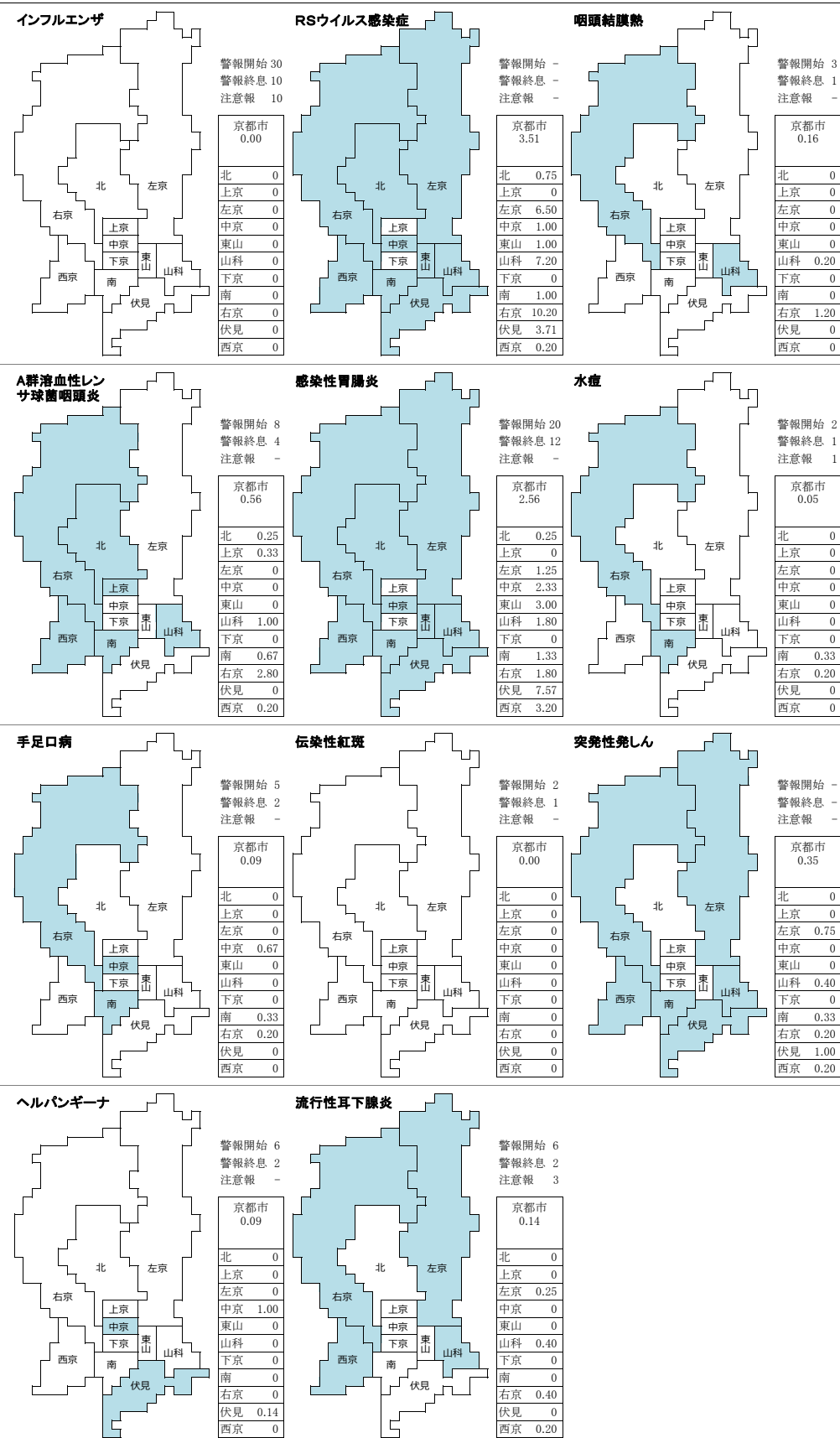
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第28週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第28週(7月12日～7月18日) トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は3.51(151例)となり、前週の2.40(103例)から増加し、第14週以降は15週続けて流行閾値(過去のデータから算出した値で、それ以上報告数が増えたら確率的に非常に多い発生と考えられる値)を上回っており、非常に多い発生状況と考えられます。

全国の発生動向は、今週の定点当たり報告数が5.99(18,915例)で、京都市同様に前週5.05(15,950例)から増加し、第10週以降、19週に渡って流行閾値を超えて推移しています(図2)。

全国の発生状況を都道府県別にみると、15週目までは九州地方で連続して5を超える県が複数見られるなど、流行と言える状況が続いていました。20週目以降はやや減少が見られますが、それに代わるように近畿・東海・北陸地方で報告が急増しました。25週目以降では関東地方でも増加し全国的な流行と言える状況が続いています(図3)。今後の推移に十分注意して下さい。

感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品を介した接触感染です。新型コロナウイルス感染症流行に伴い広く浸透した、手洗い、マスク着用、人との距離の適切な確保、人混みを避けるなどの基本的な衛生習慣や行動に加え、子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめに消毒するなど、接触による感染を予防しましょう。

図1 京都市の定点当たり報告数の推移

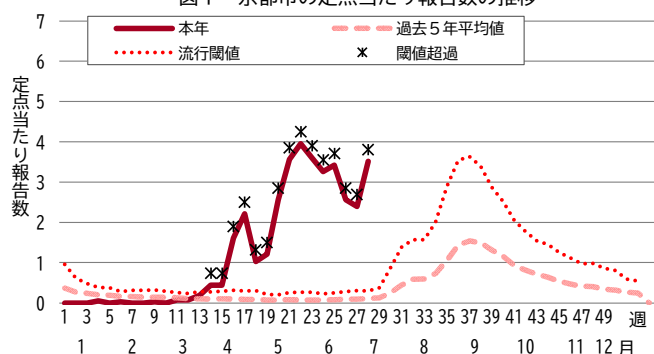


図2 全国の定点当たり報告数の推移

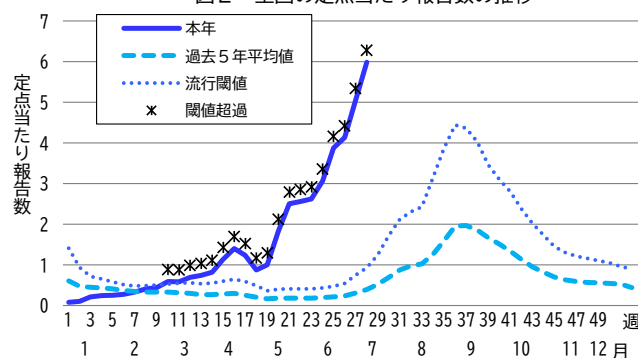
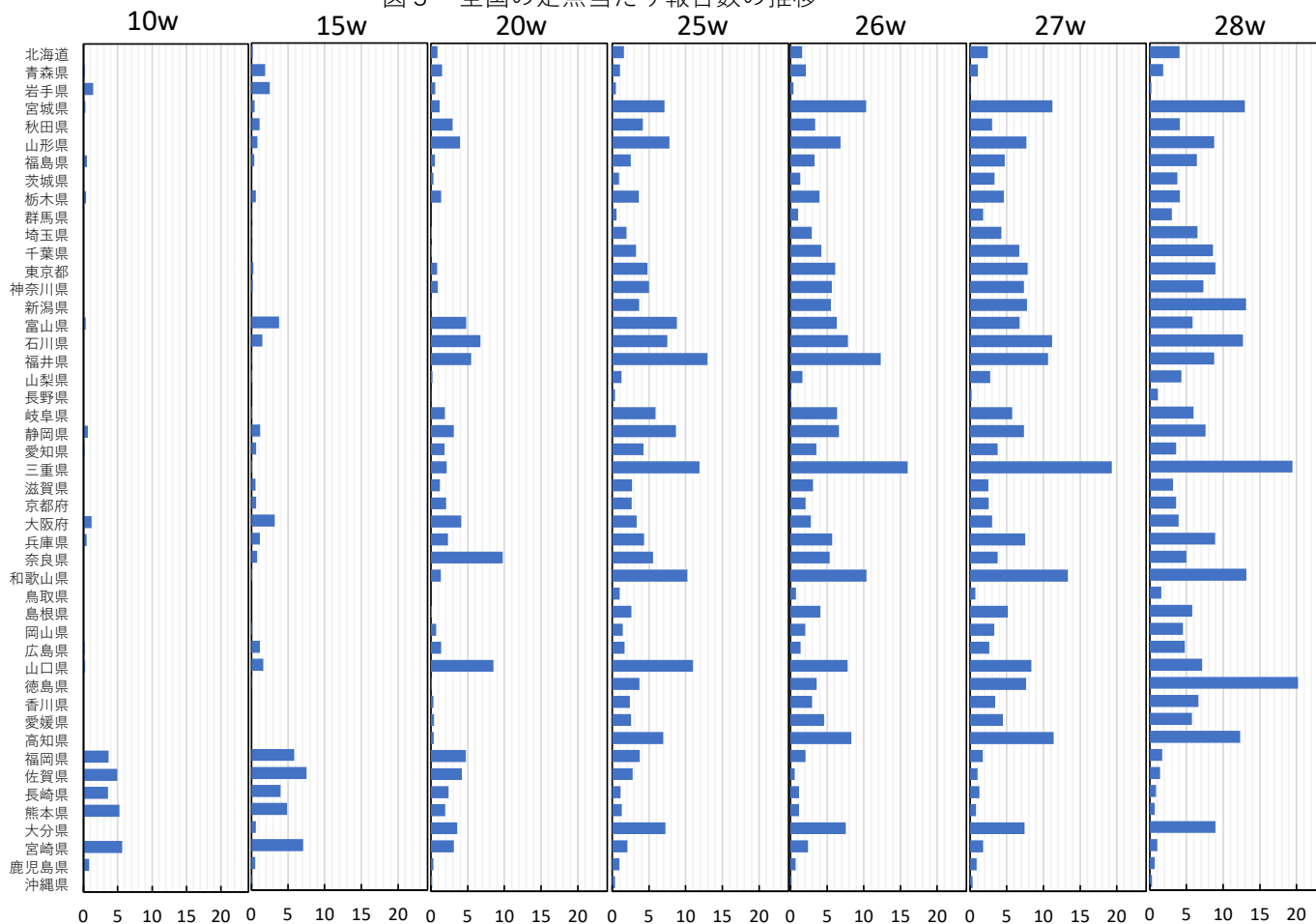


図3 全国の定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第28週

疾病,行政区別報告数

2021年7月12日～2021年7月18日

データ入手日:2021年7月21日

	インフル エンザ（※ 1）	R S ウィルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎（※ 2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎（※ 3）	感 染 性 胃 腸 炎（※ 4）
男女合計																		
北	-	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	26	-	-	5	-	-	-	3	-	1	-	-					
中京	-	3	-	-	7	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2	-	-	6	-	-	-	-	-	-							
山科	-	36	1	5	9	-	-	-	2	-	2	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	3	-	2	4	1	1	-	1	-	-							
右京	-	51	6	14	9	1	1	-	1	-	2	-	2					
伏見	-	26	-	-	53	-	-	-	7	1	-	-	-					
西京	-	1	-	1	16	-	-	-	1	-	1	-	-					
京都市計	-	151	7	24	110	2	4	-	15	4	6	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ（※ 1）	R S ウィルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎（※ 2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎（※ 3）	感 染 性 胃 腸 炎（※ 4）
男女合計																		
北	-	0.75	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	6.50	-	-	1.25	-	-	-	0.75	-	0.25	-	-					
中京	-	1.00	-	-	2.33	-	0.67	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.00	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-							
山科	-	7.20	0.20	1.00	1.80	-	-	-	0.40	-	0.40	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	1.00	-	0.67	1.33	0.33	0.33	-	0.33	-	-							
右京	-	10.20	1.20	2.80	1.80	0.20	0.20	-	0.20	-	0.40	-	2.00					
伏見	-	3.71	-	-	7.57	-	-	-	1.00	0.14	-	-	-					
西京	-	0.20	-	0.20	3.20	-	-	-	0.20	-	0.20	-	-					
京都市計	-	3.51	0.16	0.56	2.56	0.05	0.09	-	0.35	0.09	0.14	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第28週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年7月12日～2021年7月18日

データ入手日:2021年7月21日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	151	14	18	43	41	23	8	2	1	-	-	-	1	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		7	-	-	4	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		24	-	2	5	4	3	3	1	2	-	-	-	1	1	2						
感染性胃腸炎		110	1	5	23	10	14	11	12	4	3	4	2	13	2	6						
水 痘		2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
手 足 口 病		4	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		15	-	3	7	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		4	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	-	1	2	2	-	1	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ ^{※1)}	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	3.51	0.33	0.42	1.00	0.95	0.53	0.19	0.05	0.02	－	－	－	0.02	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.16	－	－	0.09	0.02	－	0.02	－	0.02	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.56	－	0.05	0.12	0.09	0.07	0.07	0.02	0.05	－	－	－	0.02	0.02	0.05						
感染性胃腸炎		2.56	0.02	0.12	0.53	0.23	0.33	0.26	0.28	0.09	0.07	0.09	0.05	0.30	0.05	0.14						
水 痘		0.05	－	－	0.02	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
手 足 口 病		0.09	－	0.05	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.35	－	0.07	0.16	0.12	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.09	－	－	0.05	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.14	－	－	－	－	0.02	0.05	0.05	－	0.02	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	0.10	－	－	－	
細菌性髄膜炎 ^{※2)}	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 ^{※3)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 ^{※4)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第28週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年7月21日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		155	140	147	110	103	151
咽 頭 結 膜 熱		18	23	6	12	5	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39	51	42	52	52	24
感染性胃腸炎		95	100	141	131	112	110
水 痘		4	3	4	1	2	2
手 足 口 病		11	4	4	10	2	4
伝 染 性 紅 斑		－	1	－	1	－	－
突発性発しん		17	11	16	11	12	15
ヘルパンギーナ		2	2	3	3	6	4
流行性耳下腺炎		1	1	2	3	－	6
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	1	1	3	－	2
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		342	337	366	337	294	325

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		3.60	3.26	3.42	2.56	2.40	3.51
咽 頭 結 膜 熱		0.42	0.53	0.14	0.28	0.12	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.91	1.19	0.98	1.21	1.21	0.56
感染性胃腸炎		2.21	2.33	3.28	3.05	2.60	2.56
水 痘		0.09	0.07	0.09	0.02	0.05	0.05
手 足 口 病		0.26	0.09	0.09	0.23	0.05	0.09
伝 染 性 紅 斑		－	0.02	－	0.02	－	－
突発性発しん		0.40	0.26	0.37	0.26	0.28	0.35
ヘルパンギーナ		0.05	0.05	0.07	0.07	0.14	0.09
流行性耳下腺炎		0.02	0.02	0.05	0.07	－	0.14
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	0.10	0.10	0.30	－	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		7.95	7.91	8.59	8.07	6.84	7.71

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。